

コニカミノルタフィロソフィー

2030長期の経営ビジョン“Imaging to the People”

コニカミノルタは創業以来、カメラ・フォト事業で培ってきた画像の入出力、画像処理を中核とするイメージング技術をコアに、世界中のお客様の「みたい」というニーズに応えてきました。この「みたい」に応え、新たな価値を創造し続けることが、私たちのDNAとして刻み込まれています。

経営理念「新しい価値の創造」の下、価値創造の源泉としての企業文化・風土である「6つのバリュー」を基盤に、経営ビジョン「Imaging to the People」の実現を目指しています。



コニカミノルタの存在意義

長期の経営ビジョンの策定にあたり、私たちは「コニカミノルタの社会的な存在意義」を突き詰めて議論しました。2020年当時、世界の多極化、人口構造の変化、DXの拡がりといった潮流から、私たちは2030年の未来を洞察し、「人々が膨大な量のデータを活用し、一人ひとりが自律的に活動しながら価値を創造し成長し続ける社会」が訪れると考えました。一方で、個別化・多様化するニーズに応えることは、資源不足や気候変動による影響、社会保障費の増大、雇用や創造への機会格差といった社会課題を生み出します。こうした課題は解決することが望まれており、企業にとっては事業機会にもなりえます。

このような考えのもと、コニカミノルタは独自のイメージング技術をコアに、人々の多様なニーズへの対応と社会課題の解決を矛盾なく両立させることが自らの存在意義であると結論づけ、長期の経営ビジョン「Imaging to the People」にその想いを込めました。



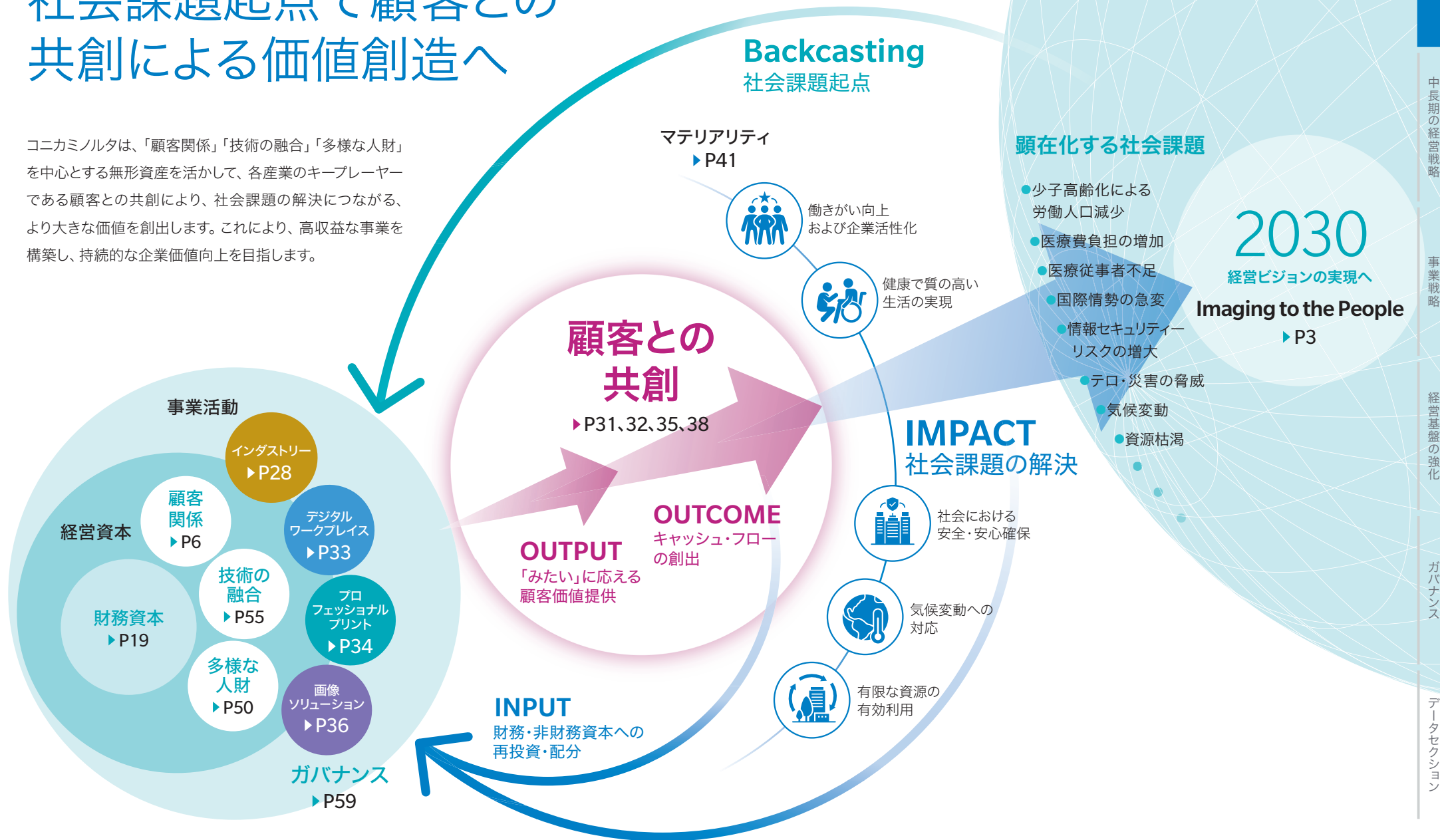
マテリアリティ

長期の経営ビジョンの策定から10年後、すなわち2030年の社会課題を想定し、その解決に向けてコニカミノルタが提供すべき社会価値を明確化し、「5つのマテリアリティ」を特定しました。これらのマテリアリティは、コニカミノルタが持っている無形資産を結集することで、特に大きな社会価値を生み出せるテーマを示したものです。この5つのマテリアリティごとに「2030年に目指す姿」を定め、中長期的な価値創出の方向性を明確にしました(マテリアリティの特定に関する詳細はP40をご覧ください)。

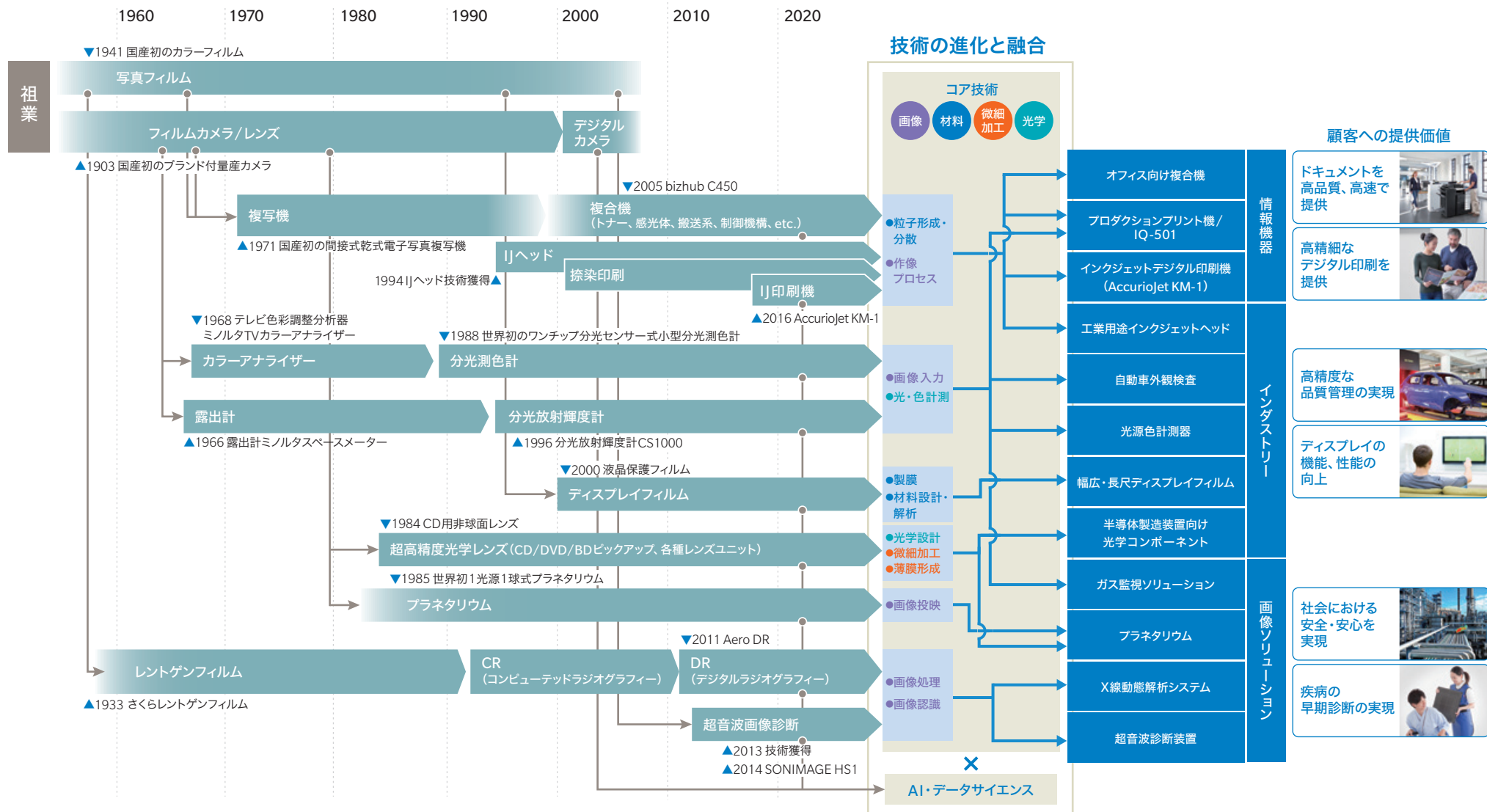


社会課題起点で顧客との共創による価値創造へ

コニカミノルタは、「顧客関係」「技術の融合」「多様な人財」を中心とする無形資産を活かして、各産業のキープレイヤーである顧客との共創により、社会課題の解決につながる、より大きな価値を創出します。これにより、高収益な事業を構築し、持続的な企業価値向上を目指します。



技術の融合と進化を積み重ね、人々の"みたい"に応え続ける



「成長が見込め、勝算のある領域」でジャンルトップ戦略を推進

	事業内容	対象顧客・業界	ジャンルトッププロダクト			
情報機器事業※	インダストリー事業 <ul style="list-style-type: none"> ●センシング 光源色・物体色計測、外観検査など各種計測機器の提供 ●機能材料 ディスプレイ用の機能性フィルムの提供 ●IJ(インクジェット)コンポーネント インクジェットヘッド・インクの提供 ●光学コンポーネント 各種レンズの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車業界 ●ディスプレイ業界 ●印刷業界 ●半導体、電子部品、部材業界 など 	光源色計測装置 世界のディスプレイ計測機器でシェア5割以上		液晶テレビ用VA-TACフィルム 世界市場でトップクラスのシェア	
	デジタルワークプレイス事業 <ul style="list-style-type: none"> ●オフィス 複合機、およびドキュメントの入力・処理・出力によるワークフロー改善ソリューション ●DW-DX 中堅・中小企業などのITサービスやデジタル化支援、オフィス向け動画・画像解析サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ●民間企業 ●官公庁 ●教育機関 など 	A3カラー複合機 世界約40カ国でトップクラスのシェア			
	プロフェッショナルプリント事業 <ul style="list-style-type: none"> ●プロダクションプリント 電子写真方式によるデジタルカラー印刷機、および印刷現場のワークフローソリューションの提供 ●産業印刷 B2インクジェット印刷機、ラベル印刷機、加飾印刷機、テキスタイル印刷機などのデジタル印刷機の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷会社 ●ラベル・パッケージ印刷会社 ●アパレルメーカー など 	デジタルカラー印刷機 世界約40カ国でトップクラスのシェア			
	画像ソリューション事業 <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケア デジタルX線画像診断システム、超音波画像診断システム、およびPACS(医療用画像保管・転送システム)などの医療ITサービスの提供 ●画像IoTソリューション IoTネットワークカメラソリューション、ガス監視ソリューション、介護に関連するソリューションの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●病院・クリニック ●社会インフラ(プラントなど) ●介護施設 など 	カセット型デジタルX線撮影装置 国内クリニック市場でトップクラスのシェア		超音波診断装置 国内整形外科市場でトップクラスのシェア	

その他の事業: プレジジョンメディシン事業

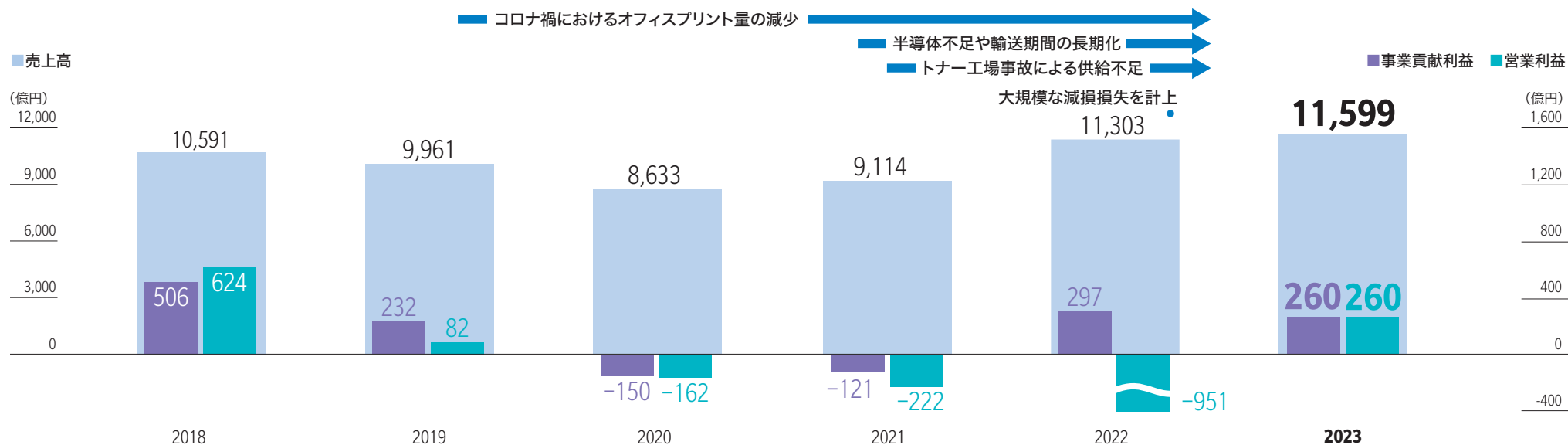
※ デジタルワークプレイス事業およびプロフェッショナルプリント事業を管理する社内組織の名称

業績データ

※ 事業貢献利益: 売上高から売上原価、販管費及び一般管理費を差し引いた利益。当社独自の利益指標

直近業績データ

2019年度からの新型コロナウイルス感染症拡大などの影響を受けるも、事業の稼ぐ力を示す事業貢献利益は回復傾向にあり、2022年に黒字化。2023年度に営業利益も黒字に転換。



地域別データ

